

CodeScape 付加情報

平成 10 年 9 月 21 日版 ・ Build92 対応

- ・ 制限事項
- ・ バグ情報
- ・ その他
- ・ 変更履歴

1. 概要

現時点で CodeScape にはいくつかの使用制限があります。これらは早急に解除される予定ですが、制限事項を十分理解の上、使用下さい。

CodeScape Debugger は、KATANA をデバッグするためのツールです。

特徴

- PC 上で動作するツールである。
- ターゲットマシンと SCSI にて接続される。
- GUI インタフェース。

2. 推奨環境

2.1. PC 環境

- OS: Windows95 OSR 2.0/2.1
- SCSI カード: ASPI ドライバが動作するカード

ASPI マネージャはバージョン 4.00 以降が必要です。

Windows95 に標準で付属する ASPI マネージャは使用できません。詳しくは SCSI カードに付属のマニュアルをご参照ください。

なお、最新版 ASPI マネージャは、

<http://www.adaptec.com/support/overview/ezscsi4x.html> より、ダウンロードできます。

- S/W: Microsoft Visual C++ (SDK 提供 makefile はマイクロソフト©の nmake.exe を使用します)

2.2. ツール

- CodeScape 、ファームウェア （共に SDK 添付版）
- GD workshop 、ファームウェア （共に SDK 添付版）

ファームウェアはターゲットマシンのフラッシュメモリに書き込まれています。ファーム変更に失敗すると、ソフトでは変更不可能になります。十分注意して下さい。

3. 制限事項

3.1. パイプラインシミュレータ・プロファイラ (バージョン)

パイプラインシミュレータとプロファイラが実装されていますが、バージョンである為、各種の制限事項があります。詳細は CodeScape フォルダ内、*.DOC を参照ください。

StatisticalProfiling は、現在動作しません。

3.2. OS モードと CPU モードについて

DebugAdapter の動作モードには、OS モードと CPU モードがあります。それぞれの特徴は以下のとおりです。これらのモードの切り替えは、DACheck の終了時に表示されるダイアログで行ないます。

OS モード：DebugAdapter 起動後、BootROM に処理を移行します。**GD-Workshop と組み合わせた自己起動プログラム**のテストなどに使用します。

CPU モード：標準的な動作モードです。DebugAdapter の起動後、ターゲットは待機状態になります。

3.3. プロジェクト設定について

CodeScape のプロジェクト設定に使用する環境ファイル中、CMDLINE というエントリが存在すると、プロジェクトビルドが正常に動作しません。環境ファイルから CMDLINE というエントリを削除してください。

3.4. 関連ファイルの更新

CodeScape 上で Local 変数の参照が出来ない場合、CodeScape フォルダ内の一部ファイルが古い可能性があります。CodeScape ディレクトリ内のファイル全てを、当 SDK に付属のものに更新してください。

3.5. C のソース関連制限

以下は**デバッグ時**の推奨環境です。コンパイラの Optimize 方法、CodeScape の動作不具合を理解した上で使用するのであれば、この限りではありません。

デバッグする C ソースは、

- コンパイル時のオプションは、**optimize=0** を指定
optimize=1 とした場合、変数の表示は正常に行なえなくなります。
- inline 展開関数は使用しない
- inline assembler は使用しない

の制限で開発することを推奨します。

3.6. 不具合項目

Watch Local Watch	<ul style="list-style-type: none"> ● 変数の表示内容が間違っていることがあります。 ● スコープの外と内側に同じ名前の変数がある場合、表示が正確に行われません。
Watch	<ul style="list-style-type: none"> ● optimize=1 のとき、変数の値が正常に表示されないことがあります。
Local Watch	<ul style="list-style-type: none"> ● optimize=1 のとき、変数の値が正常に表示されないことがあります。
Break	<ul style="list-style-type: none"> ● F5 での設定が効かなくなるときがあります。(この場合でもメニューからの設定は可能です。) ● Optimize=1 のとき、ブレークポイントのコンディション設定が効かなくなります。 ● Watch Conditions を指定すると 変数の値が変化しなくなることがあります。
Register window	<ul style="list-style-type: none"> ● FR0-15 などが指定できるに関わらず、Change Inc/DecValue に小数点を入力できません。
Step	<ul style="list-style-type: none"> ● Optimize=1 のとき、ソースコードの行の順番は保証されません。
Project	<ul style="list-style-type: none"> ● ビルドの最中、ウインドウの表示更新がされません。
Source	<ul style="list-style-type: none"> ● 行番号が二ーモニクのある行にのみ表示されます。
Call Stack	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 レベルまたは2 レベルまでしかコールスタックが表示されないことがあります。
Editor	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本語の入力に一部問題があります。

4.動作に不具合が生じた場合

今まで動作していたものが急に動作しなくなった場合は、以下の項目を確認して下さい。

主な確認事項

- ターゲット上の特定のプログラムのみ不具合が生じますか？(プログラムの不具合)
- PC 上の他のアプリケーションは正常に動作していますか？ (PC の不具合)
- 他の環境では、同じプログラムが正常動作していますか？(PC またはターゲットの不具合)

内容	対処例
プログラムの不具合	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラムを修正する
PC の不具合	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れ直す
PC の不具合	<ul style="list-style-type: none"> ● OS の再インストール
PC の不具合	<ul style="list-style-type: none"> ● H/W の変更
CodeScape の不具合	<ul style="list-style-type: none"> ● CodeScape の再起動
CodeScape に設定した項目が元に戻せなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● Codescape.ini ファイルの消去
CodeScape に設定した項目が元に戻せなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● Session を新たに生成し、再度設定し直す
ターゲットに初期化が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● CodeScape で File → Rest Target → Hard rest で再度プログラムを読み込む

ターゲットに初期化が必要	● ターゲットの電源を入れ直す。
ターゲットの不具合	● ターゲットの変更。

codescape.ini について

PC でウィンドウズのフォルダにある codescape.ini ファイルを消去(またはリネーム)して下さい。(例: c:\¥windows¥codescape.ini を消去)

これらは全てを一度に行う必要はありません。症状に応じて適宜組み合わせて動作確認して下さい。
再現性がある場合はお手数ですが、SEGA ソフトウェア技術開発部までご連絡下さい。

5. 変更履歴

7 月 30 日版からの変更点

- ・関連ファイルについて
- ・Profiler 制限事項追加
- ・その他詳細修正

7 月 15 日版からの変更点

- ・DALI.CFG について
- ・プロジェクト設定について

6 月 30 日版からの変更点

- ・各種制限の変更
- ・プロファイラ・シミュレータの追加
- ・OS モードと CPU モードについて

6 月 11 日版からの変更点

- ・ASPI マネージャに関する記述を追加。

5 月 07 日版からの変更点

- ・CodeScape のバージョンアップに伴い、制限事項項目が変わりました。

4 月 24 日版からの変更点

- ・CodeScape のバージョンアップに伴い、制限事項項目が変わりました。

以上